

**台風・暴風・豪雨・豪雪・猛暑など極端気象による
都市の複合災害の発生過程の解明とリスク評価
(第3回都市極端気象シンポジウム・第20回台風研究会)**

日時：2024/9/17(火)~18(水)

場所：京都大学防災研究所 連携研究棟 301 号室

9/17

- 13:30-13:40 趣旨説明 西暁史

- 都市気象 I (座長：西暁史)
 - 13:40-14:00 メトロマニラにおける極端な熱波時のヒートアイランド効果のシミュレーションの改善 (Improving simulations for urban heat island impact during extreme heat events in Metro Manila)
Angela MAGNAYE (筑波大)
 - 14:00-14:20 ベトナム・ホーチミンにおける都市が降水に与える影響
長谷部俊 (筑波大)
 - 14:20-14:40 数値シミュレーションを用いた対流性降水に対する都市の影響についての研究
青田優希 (筑波大)
 - 14:40-15:00 POTEKA 地上稠密気象観測網と突風予測手法
岩下久人 (明星電気)

- 15:00-15:20 休憩

- 台風 I (座長：伊藤耕介)
 - 15:20-15:40 理想台風シミュレーションを用いた海面水蒸気フラックス介入の制御メカニズム
持田岳澄 (横国大)
 - 15:40-16:00 雲粒数濃度の違いによる台風の強度・構造に対する感度実験
北野湧斗 (横国大)
 - 16:00-16:20 台風下海表面における Wave Glider の挙動解析手法と機体安定監視指標の提案
遠藤直人 (NTT)
 - 16:20-16:40 台風下における海水温観測データと各種データとの比較評価
倉恒子 (NTT)

- 16:40-17:00 台風下の海上風観測データと数値予報モデル/衛星データとの比較評価
小阪尚子(NTT)

懇親会

9月17日(火) 17:30 から

マダン黄檗店(宇治キャンパス南側入口から徒歩3分)

9/18

- 都市気象 II (座長: 日下博幸)
 - 10:00-10:20 機械学習を用いた新たな都市街区分類の試み
中村祐輔(筑波大)
 - 10:20-10:40 2024年7月7日に静岡で観測された極端高温の発生要因
西曉史(防衛大)
 - 10:40-11:00 夏季晴天日の地上気象観測に基づく、人工芝グラウンド・天然芝グラウンドにおける暑熱環境評価
松本現(筑波大)
 - 11:00-11:20 日本の都市の夏季気象区分
松岡亮(北大)
- 記念撮影
- 昼食
- 台風 II (座長: 竹見哲也)
 - 12:40-13:00 順圧不安定は内側壁雲弱化の普遍的なメカニズムであるか? -台風 Haishen (2020) と Hinnamnor (2022) のドップラーレーダー解析-
辻野智紀(気象研)
 - 13:00-13:20 台風強度長期再解析 TyRA
伊藤耕介(京都大)
 - 13:20-13:40 Adjoint sensitivity analysis of rapid intensification of Tropical Cyclone Nammadol (2022)
平野創一朗(京都大)
 - 13:40-14:00 熱帯低気圧の強度・構造に対する海面交換係数の影響
宮本佳明(慶応大)

- 14:00-14:20 最悪クラス台風高波の常時微動長期観測による統計解析
志村智也（京都大）
- 14:20-14:40 休憩
- 極端気象一般（座長：稲津將）
 - 14:40-15:00 六甲おろし発生時の気圧配置パターンと 3 次元構造
安倍啓貴（筑波大）
 - 15:00-15:20 海面水温と気温の温度差が日本海上筋状雲にもたらす影響
佐藤海斗（北大）
 - 15:20-15:40 大雨をもたらす対流雲内の雨滴粒径分布の空間的な特徴
鵜沼昂（気象研）
 - 15:40-16:00 梅雨期九州で集中豪雨が明け方から朝に頻発する要因について
加藤輝之（気象研）
- 16:00 優秀発表賞授与、閉会の挨拶 竹見哲也

●京都大学宇治キャンパス防災研究所構内マップ：

